

本格的な撮影を身近にする標準ズームレンズ“RF28-70mm F2.8 IS STM”を発売
優れた携帯性と L レンズに迫る高画質を両立し多彩な撮影シーンに対応

キヤノンは、「EOS R システム」の交換レンズ「RF レンズ」の新製品として、標準ズームレンズ“RF28-70mm F2.8 IS STM”を2024年9月27日に発売します。



RF28-70mm F2.8 IS STM



開放絞り値 F2.8 を生かした自然で美しいボケ味



小型・軽量設計により優れた携帯性を実現

“RF28-70mm F2.8 IS STM”は、携帯性や取り回しに優れた小型・軽量設計と L レンズに迫る高画質^{※1}を両立した標準ズームレンズです。静止画・動画ともに使い勝手に優れた焦点距離 28mm から 70mm の標準ズーム域をカバーし、1 本で多彩な撮影シーンに対応します。快適な手持ち撮影や開放絞り値 F2.8 の自然で美しいボケ味により、スナップやポートレート、風景などを手軽に撮影したい静止画ユーザーや、映像作品の制作でさらに表現にこだわりたい動画ユーザーなど、多様な撮影ニーズに応えます。

■ ズーム全域での開放絞り値 F2.8 を達成しながら携帯性に優れた小型・軽量設計を実現

IS（手ブレ補正機構）ユニットの小型化や沈胴構造の採用により、ズーム全域での開放絞り値 F2.8 を達成しながら、全長約 92.2mm、質量約 495g の小型・軽量設計を実現しています。優れた携帯性に加え、焦点距離 28mm から 70mm の使い勝手の良いズーム域により、スナップやポートレートなどの静止画撮影から映像制作まで幅広いシーンに対応します。

■ 自然で美しいボケ味と L レンズに迫る高画質を実現

ズーム全域での開放絞り値 F2.8 により、幅広い焦点距離で自然で美しいボケ味を生かした撮影が可能です。また、「UD レンズ^{※2}」を最前面に配置する構成を採用する 12 群 15 枚の最適な光学設計により、画質劣化の原因となる諸収差を低減し、画面全域で L レンズに迫る高画質を実現しています。

■ STM（ステッピングモーター）と手ブレ補正機構の搭載による快適な撮影

リードスクリュータイプの STM にモーターの回転数を読み取る磁気センサーを搭載したことで、高度なフィードバック制御が可能となり、高速・高精度に加え、静かで滑らかな AF を実現します。また、レンズ内光学式手ブレ補正機構により 5.5 段^{※3}、ボディ内手ブレ補正機構を搭載している EOS R シリーズのカメラとの組み合わせでは協調制御を実現し^{※4}、「EOS R1」（2024年11月発売予定）装着時は、CIPA2024 規格、中央 7.5 段^{※5}、周辺 7.0 段^{※5}の手ブレ補正効果を発揮し、快適な撮影が可能です。

※1. 「RF24-105mm F4 L IS USM」（2018年10月発売）に相当する画質ですが、焦点距離の違いによる撮影可能な範囲と、開放 F 値の違いにより得られるボケ表現、レンズのサイズ・重量の違いがあります。小型・軽量で手軽に持ち運べることを重視し、沈胴構造を適用した本レンズに対し、「RF24-105mm F4 L IS USM」は L レンズ的设计思想に基づき、堅牢性・防じん性に更に優れているほか、ASC（Air Sphere Coating）の採用や、操作性に優れた専用のフォーカスリングが採用されている点で、よりプロユースを考えたレンズとなっています。

※2. UD（Ultra low Dispersion=特殊低分散）ガラスを用いたレンズ。

※3. CIPA2024 規格、中央 5.5 段、焦点距離 70mm、「EOS R8」（2023年4月発売）使用時、Yaw/Pitch 方向。

※4. 協調制御対応カメラはキヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。

※5. 焦点距離 70mm、「EOS R1」使用時、Yaw/Pitch/Roll 方向。

製品名	希望小売価格	発売日
RF28-70mm F2.8 IS STM	オープン価格	2024 年 9 月 27 日

● 一般の方のお問合せ先 : キヤノンお客様センター 0570-08-0002 (直通)

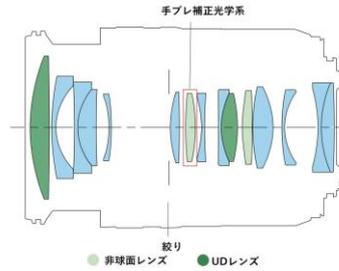
〈“RF28-70mm F2.8 IS STM”の特長〉

1) ズーム全域での開放絞り値 F2.8 を達成しながら携帯性に優れた小型・軽量設計を実現

- IS（手ブレ補正機構）ユニットの小型化や沈胴構造の採用により、ズーム全域での開放絞り値 F2.8 を達成しながら、全長約 92.2mm、質量約 495g の小型・軽量設計を実現。
- 優れた携帯性に加え、焦点距離 28mm から 70mm の使い勝手の良いズーム域により、スナップやポートレートなどの静止画撮影から映像制作まで幅広いシーンに対応。画角の違いを生かした多彩な表現が可能。



スナップなどの静止画に加え
Vlog や映像制作にも好適



RF28-70mm F2.8 IS STM の
光学構成図（焦点距離 28mm 時）

2) 自然で美しいボケ味と L レンズに迫る高画質を実現

- ズーム全域での開放絞り値 F2.8 により、幅広い焦点距離で自然で美しいボケ味を生かした撮影が可能。
- 「RF マウント」の特長である大口径・ショートバックフォーカスを生かし、撮像面近くにレンズを配置。「UD レンズ」を最前面に配置する構成を採用する 12 群 15 枚の最適な光学設計により、画質劣化の原因となる諸収差を低減し、画面全域で L レンズに迫る高画質を実現。
- 2 枚の「ガラスモールド非球面レンズ」を効果的に配置することで、諸収差を抑制した解像力の高い撮影が可能。



手前や背景を柔らかくぼかすことが可能



画面全域での高画質を実現

3) STM（ステッピングモーター）と手ブレ補正機構の搭載による快適な撮影

- リードスクリュータイプの STM にモーターの回転数を読み取る磁気センサーを搭載したことで、高度なフィードバック制御が可能となり、高速・高精度に加え、静かで滑らかな AF を実現。
- レンズ内光学式手ブレ補正機構により 5.5 段、ボディ内手ブレ補正機構を搭載している EOS R シリーズのカメラとの組み合わせでは協調制御を実現し、「EOS R1」装着時は、CIPA2024 規格、中央 7.5 段、周辺 7.0 段の手ブレ補正効果を発揮。
- 手持ちでの夜景撮影など、低速シャッターで手ブレしやすいシーンにおいても手ブレを抑えた撮影が可能。
- 動画電子 IS^{※1}との協調制御により、動画撮影時に手ブレ補正効果を発揮。
- 動画撮影中のフォーカス操作によって生じる画角変動を、カメラで電子的に補正する「フォーカスブリージング補正^{※2}」に対応。

※1. 動画電子 IS 使用時は、撮影範囲が狭くなります。

※2. フォーカスブリージング補正機能を搭載したカメラ装着時。動画撮影モードでのみ使用可能。

4) 優れた耐久性と対衝撃性により信頼性を確保

- 軽量化を実現しながら、優れた耐久性と対衝撃性を実現。
- 操作リングなどに防じん・防滴構造を採用^{※1}。屋外の突然の雨や水際撮影でも安心して使用可能。チリやホコリが入りやすい沈胴式のレンズ部分をカバー。

※1. スイッチ部、ボタン部、調整リングには防じん・防滴構造は非採用。また、水滴やほこりの浸入を完全に防ぐものではありません。



— 防じん・防滴構造の採用箇所

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

<https://personal.canon.jp/product/camera/rf/rf28-70-f28>

〈ご参考：環境に配慮した取り組み〉

- キヤノンは、従来の包装設計思想を維持しながら、包装材の脱プラスチック対応^{※1}を進めています。輸送時の衝撃や保護に対し、これまでの EF レンズ・RF レンズの L レンズ同等の品質への配慮を行っています。

※1. ラベル、コーティングや接着剤に用いる材料は除く。